

証券コード：5819

CANARE

www.canare.co.jp



2022年度 第50期

第2四半期 決算報告書

令和4年1月1日～6月30日

力丸電気株式会社



代表取締役社長
中島 正敬

株主の皆様の期待にこたえるべく、営業活動の再開、新規製品の開発等により競争力を高め収益性を改善し企業価値の増大を図ってまいります。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第50期(2022年12月期)第2四半期決算報告書をお届けするにあたり、
当社グループの業績概要についてご報告申し上げます。
株主様におかれましては、今後ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第2四半期の概要について

当第2四半期(2022年1月～6月)の当社グループを取り巻く経営環境は、相次ぐ原材料価格の高騰や半導体供給逼迫、また収束しない新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響により、世界経済が不透明感・不確実性を増した状況でした。
こうした状況下、当社は原材料高騰への対応(価格改定)をする一方、光製品や電子機器の新製品普及活動、AVコンソール製品などの販促活動を積極的に行うと共に、ITネットワーク関連製品など新規製品の開発活動に取り組んでまいりました。

国内市場については、高知放送新局舎をはじめ、北海道地区の大型野球スタジアム関連施設や各種公営競技場、大学等の教育施設のプロジェクトのほか、全国展開するコンビニエンスストア数千店舗等の映像配信設備へ当社製品の採用が決定、納入が進みました。その結果、国内売上は前年同期比9.0%増の28.8億円となりました。また、海外市場の経済活動再開の動きに対し、製品普及活動も少しずつ回復し、中国以外の全ての海外拠点で前年同期を上回る売上となりました。急激かつ大幅な円安効果もあり、海外売上は前年同期比14.4%増の24.1億円となりました。米州ではニューヨークの歴史あるコンサートホールやアルゼンチンの放送局等に、欧州ではオンラインゲーム用のアプリ開発会社やイスラエルの新サッカースタジアム等に、韓国や中東では国営放送

局等に製品納入しました。また、当期11月に開催予定のサッカーワールドカップカタール大会に向け、テレビ中継用ケーブルを世界各国の放送局へ納入しました。なお中国景気については、前期はいち早く経済活動が復活、当社ビジネスも大幅な回復となりましたが、当第2四半期は一転して、予想以上の悪化となっています。特に上海市のロックダウン等による生産・物流が停滞したことは、世界規模で大きなインパクトとなり、実際に当社の製造会社も販売会社も影響を受けて、売上は前年同期比で大幅減少となりました。

この結果、売上高53.0億円(前年同期比11.4%増)、経常利益4.9億円(前年同期比6.5%増)、純利益3.1億円(前年同期比0.8%増)と増収増益となりました。中間配当金につきましては、当第2四半期の業績を勘案し、1株当たり15円とさせていただきます。

下半期について

原材料価格(銅価格)は少し落ち着く気配や円安などの当社のビジネスにとってプラス影響があるものの、依然として続く新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナへの軍事侵攻によるマイナス影響は大きく、厳しい経営環境が続くことが予見されます。

ただし、このような状況ではありますが、活動制限が緩和された地域や産業では、経済活動が活性化しており、コンサート

などのイベントやスポーツ観戦を再開している国・地域もあります。販売促進、普及活動にとって重要な展示会についても、その開催規模はコロナ前までにはいたっていないものの、世界中で放送関連の展示会が再開し始めております。オンラインでの商談が日常となった社会ですが、フェイス・トゥ・フェイスで実際に製品を見て触っていただき、品質をご確認いただける貴重な機会は、当社・お客様双方にとって新たな商談づくりへの良い場となっております。

当社の活動については、国内外で対面での営業活動や出張が再開し、新たな商談や顧客取引等のビジネスチャンスが生まれております。またサプライチェーンでは原材料高騰や供給不足の影響を少しでも回避すべく、安定供給に向けてさまざまな改善策に取り組んでおります。

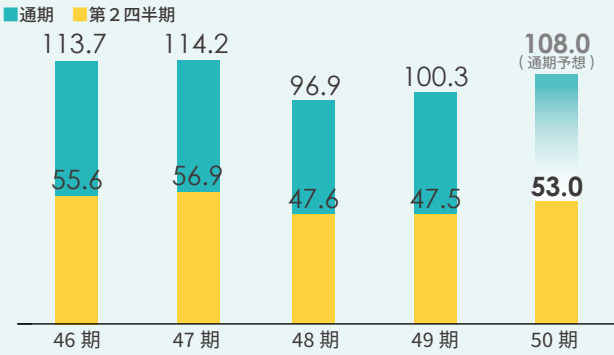
国内市場は地方放送局や超高精細化に向けた設備更新、文教デジタル教育の設備更新の継続等、海外市場ではサッカーワールドカップカタール大会や新スタジアムの建設などの需要が見込まれます。また、このような積極的な販促活動を行う一方で、当社の将来を担う次世代製品の開発投資等にも積極的に取り組みます。経費は大幅に増加しますが収益性の改善によりカバーできる見通しです。

こうした活動を踏まえた通期の業績予想としましては、売上高108.0億円(前期比7.6%増)、営業利益9.7億円(前期比3.5%減)、純利益6.8億円(前期比0.5%増)を予想します。期末配当金は、15円(年間30円)を予定しております。

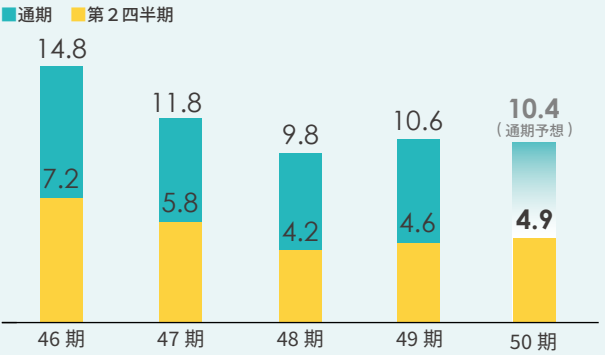
第2四半期連結業績概要

	前年同期	当第2四半期	
売上高	47.5 億円	53.0 億円	⬆
営業利益	4.3 億円	4.4 億円	⬆
経常利益	4.6 億円	4.9 億円	⬆
第2四半期純利益	3.1 億円	3.1 億円	➡
1株当たり第2四半期純利益	46.5 円	46.8 円	➡
総資産	158.3 億円	173.2 億円	⬆
純資産	143.2 億円	153.9 億円	⬆
1株当たり純資産	2,122 円	2,281 円	⬆

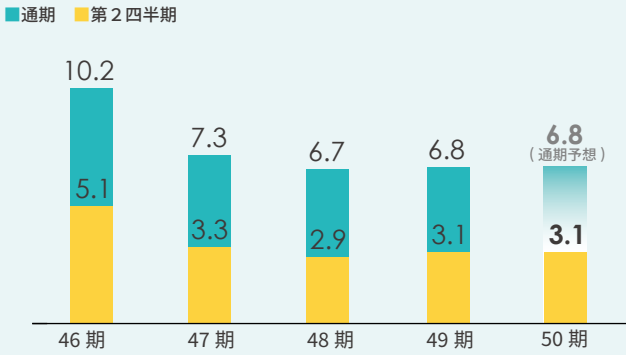
売上高(億円)



経常利益(億円)

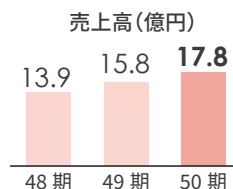


純利益(億円)

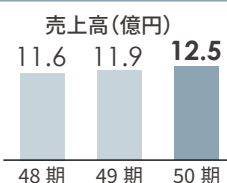


[ご注意1] 通期予想は、現在入手可能な情報を基に慎重に策定しておりますが、さまざまな要因の変化から、実際とは大きく異なる可能性がございます。予めご承知ください。

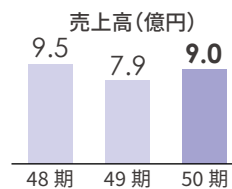
ケーブル

売上高 **17.8** 億円前年同期比 **12.4%**増 ↑

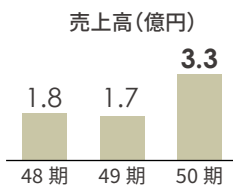
接続ケーブル

売上高 **12.5** 億円前年同期比 **4.8%**増 ↑

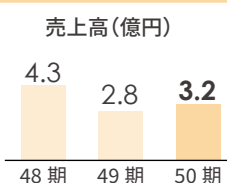
パッシブ機器

売上高 **9.0** 億円前年同期比 **12.7%**増 ↑

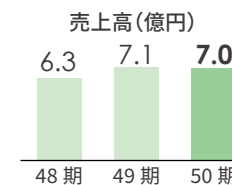
その他

売上高 **3.3** 億円前年同期比 **87.6%**増 ↑

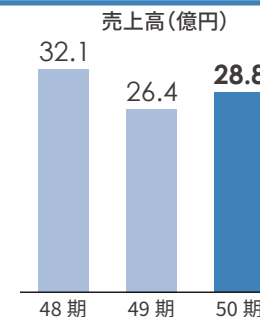
電子機器

売上高 **3.2** 億円前年同期比 **15.1%**増 ↑

コネクタ

売上高 **7.0** 億円前年同期比 **-1.6%**減 ↓

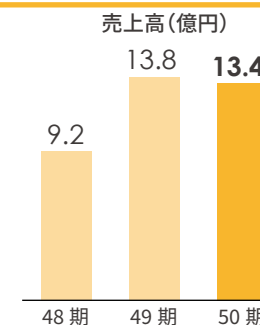
国内市場

売上高 **28.8** 億円前年同期比 **9.0%**増 ↑売上高構成比
54.4%

当第2四半期の状況

国内市場は、放送市場では物件規模の小型化が顕著となる中、地方放送局やラジオ放送局のシステム更新物件は継続し楽器市販市場でも堅調でした。また、公営競技場更新物件が増加しました。

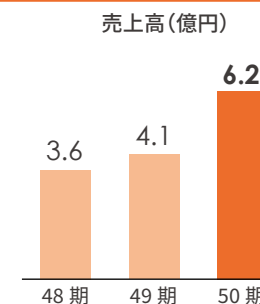
アジア市場

売上高 **13.4** 億円前年同期比 **3.2%**減 ↓売上高構成比
25.4%

当第2四半期の状況

中国では北京五輪があったものの上海のロックダウンにより売上高は、大幅に減少。韓国は電設市場が堅調で、放送市場の4K化も始まり、東南アジアは遅延物件再開により堅調でした。

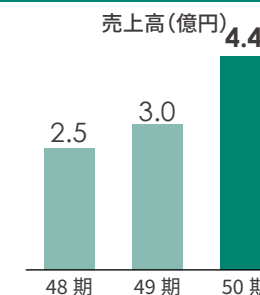
米州市場

売上高 **6.2** 億円前年同期比 **49.9%**増 ↑売上高構成比
11.8%

当第2四半期の状況

米国市場は、継続して新型コロナウイルス感染症や物流混乱の影響を受けておりますが、放送市場において番組制作の4K放送化更新需要増加に伴い現地ディーラ向け納入などが好調でした。

その他市場

売上高 **4.4** 億円前年同期比 **45.7%**増 ↑売上高構成比
8.4%

当第2四半期の状況

売上は好調に推移しており、欧州ではオンラインゲーム用のアプリ開発会社やイスラエルの新サッカースタジアムなどに、中東では国営放送局などに納入しました。

第2四半期連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表の要旨

(単位 千円)

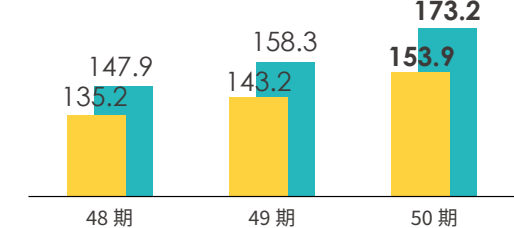
Point	流動資産	その他	資産の部	第2四半期 2022.6.30	前年同期 2021.6.30
・加工委託先への有償材料	136	百万円	流動資産	14,197,611	13,397,664
			現金および預金	9,791,753	9,636,599
			受取手形および売掛金	1,374,380	1,104,539
			棚卸資産	2,689,888	2,350,780
			その他	350,488	314,909
			貸倒引当金	▲ 8,899	▲ 9,163
Point	固定資産	機械装置および運搬具等	固定資産	3,131,655	2,436,090
・子会社新工場建設による建設仮勘定増	558	百万円	有形固定資産	2,083,214	1,347,409
・海外子会社リース資産増	176	百万円	建物および構築物	357,393	386,975
			機械装置および運搬具等	923,848	188,929
			土地	801,972	771,504
Point	固定資産	投資およびその他の資産	無形固定資産	15,349	18,488
・投資有価証券	839	百万円	投資およびその他の資産	1,033,090	1,070,192
・保険積立金	101	百万円	資産合計	17,329,267	15,833,755

Point	流動負債	その他	負債の部	第2四半期 2022.6.30	前年同期 2021.6.30
・未払法人税など	159	百万円	流動負債	1,612,516	1,382,686
・前受金	334	百万円	買掛金	623,688	541,035
			未払金	174,427	163,305
			賞与引当金	86,700	79,847
			役員賞与引当金	2,650	6,075
			その他	725,049	592,422
Point	固定負債	その他	固定負債	318,189	123,653
・リース債務	143	百万円	製品保証引当金	13,309	14,664
・繰延税金負債	61	百万円	退職給付に係る負債	21,199	18,607
			役員退職慰労引当金	47,230	40,655
			その他	236,450	49,726

Point	評価・換算差額等	為替換算調整勘定	純資産の部	第2四半期 2022.6.30	前年同期 2021.6.30
・円安に伴う為替換算調整勘定増	522	百万円	株主資本	14,721,306	14,239,972
			資本金	1,047,542	1,047,542
			資本剰余金	1,175,210	1,175,210
			連結剰余金	12,834,154	12,352,820
			自己株式	▲ 335,601	▲ 335,601
			評価・換算差額等	677,253	87,443
			その他有価証券評価差額金	50,623	45,673
			繰延ヘッジ損益	▲ 1,231	-
			土地再評価差額金	▲ 371,051	▲ 371,051
			為替換算調整勘定	998,913	412,821
			負債・純資産合計	17,329,267	15,833,755

財産状況推移(億円)

(第2四半期連結)



第2四半期連結損益計算書の要旨

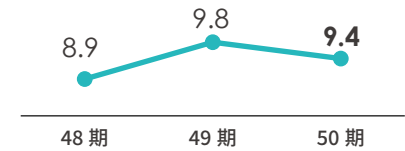
(単位 千円)

Point	営業外収益	科目	第2四半期 2022.1.1~6.30	前年同期 2021.1.1~6.30
・受取利息・配当金	14	売上高	5,302,033	4,758,765
・投資事業組合運用益	3	売上原価	3,323,917	2,886,262
		売上総利益	1,978,115	1,872,503
		販売費および一般管理費	1,534,385	1,437,830
Point	営業外費用	営業利益	443,730	434,672
・賃貸原価	1	営業外収益	58,206	39,150
		営業外費用	3,392	5,671
Point	営業活動によるキャッシュ・フロー	経常利益	498,544	468,152
・税引前純利益	498	税金等調整前第2四半期純利益	498,544	468,152
・減価償却費	90	法人税、住民税および事業税	160,052	131,262
・売上債権の増加	▲ 199	法人税等調整額	21,973	22,755
・棚卸資産の減少	63	第2四半期純利益	316,519	314,133
・未収消費税等の減少	106			

Point	投資活動によるキャッシュ・フロー	第2四半期 2022.1.1~6.30	前年同期 2021.1.1~6.30
・定期預金の預け入れによる支出 ▲123百万円			
・有形固定資産の取得による支出 ▲610百万円			
	営業活動によるキャッシュ・フロー	425,701	335,191
	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 718,955	▲ 64,055
	財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 143,182	▲ 118,087
	現金および現金同等物に係る換算差額	201,775	82,567
Point	財務活動によるキャッシュ・フロー		
・配当金の支払額 ▲114百万円			
	キャッシュ・フロー計	▲ 234,660	235,616

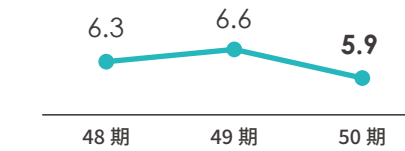
売上高経常利益率(%)

(第2四半期連結)



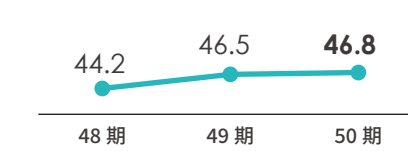
売上高純利益率(%)

(第2四半期連結)



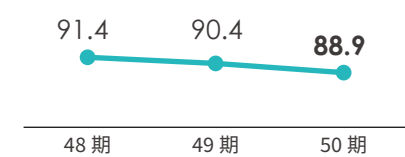
1株当たり純利益(円)

(第2四半期連結)



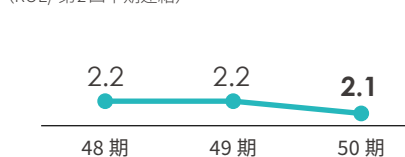
自己資本比率(%)

(第2四半期連結)



自己資本純利益率(%)

(ROE/ 第2四半期連結)



1株当たり純資産(円)

(第2四半期連結)





株式会社 高知放送 様

新局舎放送システム更新プロジェクト

カナレ電気に一括発注することで、
設置から施工まで一括管理。
メリットを実感しました。

今までに
ない!!

プランニングから施工まで

ALL CANARE 対応!!

導入ソリューション

■ 配線



■ 端子盤



■ 表示灯



■ ラジオ運行表示



■ システムラック



■ 光回線



One Stop Solution

One Stop Solution で、カナレ製品はもちろん物品・
部材の調達、施工や工程管理もカナレ電気で一元化。
また、指示や内容変更においても、柔軟に対応。結果、
最適なシステム構築、コスト削減も実感。

広範囲なシステム構築力

カナレ電気のシステム構築体制により各設備ごとの
体制を事前にアレンジ。施工中の連携・連動もスムーズ
で安心安全、かつ、作業時間も短縮。

現局～新局舎間の 仮設光回線構築

現局～新局舎間の仮設光回線を構築。カナレ製光コン
バータを活用し、将来の用途への転用など光伝送導入
メリットを実感。

インタビュー

株式会社 高知放送 技術局 様

新局舎プロジェクトは放送用設備を全て更新する
ため、その範囲はとても広いです。全体をマネー
ジメントする上で、多種多様なテーマを扱え、取り
まとめられる企業を探していました。具体的には
『 室間統合配線 / 仮設光回線構築 / 局内端子盤 /
システムラック & モニターコンソール /
ラジオ運行表示 等』について施工完了までの窓口
の一元化を求めています。企業選定には施工
実績を考慮した上で、理想的なコストを提示して
くれたカナレ電気を採用しました。当初はケーブル
& コネクタの部材メーカーという認識でしたが、
打合せを重ねるにつれて、カナレ電気から各要望
に対し最適化された資料が提示されるため、内容
確認がメイン作業となり、業務負荷が大きく軽減
されました。施工中も要件ごとに施工業者間の
連携連動を考慮し、現場を取りまとめてくれた
のでスムーズに進行しました。その結果、打合せ
時間の短縮、スムーズなスケジュール管理、ロス
コストの削減等につながりました。カナレ電気に
一括発注したことで狙いどおり、窓口一元化の
メリットを実感できました。

会社概要

(2022年6月30日現在)

商号

カナレ電気株式会社

本社

神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-1 LIVMO ライジングビル 5F(登記上の本社 愛知県日進市藤枝町)

設立

昭和49年(1974年) 2月(創業：昭和45年)

資本金

10億4,754万円

従業員数

114名 / グループ：263名(パート、派遣社員は含まず)

事業所

新横浜本社、名古屋本社、横浜事業所、名古屋営業所、大阪営業所、福岡営業所、光デバイス開発部

子会社

※子会社の記載順序は設立順です。

- 1
- カナレハーネス株式会社
- 2
- Canare Corporation of America
- 3
- Canare Corporation of Korea
- 4
- Canare Corporation of Taiwan
- 5
- Canare Electric (Shanghai) Co.,Ltd.
- 6
- Canare Electric Corporation of Tianjin
- 7
- Canare Singapore Private Ltd.
- 8
- カナレシステムワークス株式会社
- 9
- カナレコネクティッドプロダクツ株式会社
- 10
- Canare Electric India Private Ltd.
- 11
- Canare Europe GmbH
- 12
- Canare Middle East FZCO

取締役および監査役

代表取締役社長

中島 正敬

取締役

後藤 晃男

取締役

伊藤 徹秀

取締役

千種 佳樹

取締役

山本 英夫

取締役

石井 秀明

社外取締役

柳川 和英

社外取締役

宮本 透

常勤監査役

辻 重明

監査役

財田 洋一

監査役

三ツ目 純一郎

発行可能株式数

23,092,200 株

発行済株式の総数

7,028,060 株

(内 自己株式数 278,514株)

単元株式数

100 株

株主数

10,560 名

(前第2四半期末比 263名増加)

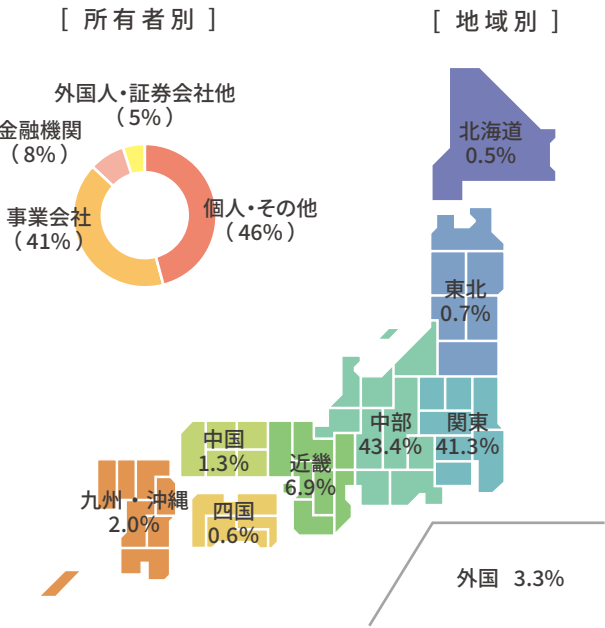
大株主

株主様名	所有株式数 (単位 千株)	出資比率 (単位 %)
有限会社香流	800	11.3
株式会社新高輪	800	11.3
株式会社センリキ	350	4.9
株式会社センユキ	350	4.9
川本公夫	300	4.2
カナレ電気株式会社 (自己名義)	278	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	252	3.5
川本重喜	200	2.8
株式会社ノダノ	200	2.8
合同会社カワシマ	200	2.8

●所有株式数は千株未満を、出資比率は小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

株主様分布

(議決権個数の割合による)



IR情報に関するお問い合わせ先

伊藤 徹秀

TEL 045-620-7474(代)

ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報を開示しております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

ホームページアドレス

www.canare.co.jp



カナレ電気の株主優待制度

基準日現在の株主名簿に記載され、かつ100株以上を保有されている株主様へ半期ごとに株主優待品を贈呈いたします。

同封いたしましたので、ご確認ください。



〈クオカード〉

決算日	保有株式数別 優待		お届け時期	贈呈方法
	100株以上 200株未満	200株以上		
2022年 6月30日	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分	今回同封	「第2四半期決算報告書」に同封
2022年 12月31日			2023年 3月中旬(予定)	「株主総会決議通知」に同封

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

配当の基準日 毎年6月30日および12月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
0120-782-031（フリーダイヤル）

同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社
本店および全国各支店

住所変更も
証券会社へ

■住所・氏名など届出事項の変更について

証券会社等に口座をお持ちの株主様… 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

特別口座をお持ちの株主様 …………… 下記連絡先(三井住友信託銀行証券代行部)までお問い合わせください。

なお、三井住友信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。

■未受領の配当金のお受け取りについて

支払期間経過後の配当金については、三井住友信託銀行までお問い合わせください。

株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

三井住友信託銀行
証券代行部

0120-782-031（フリーダイヤル）

カシ電機株式会社

神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-1 LIVMO ライジングビル 5F
TEL.045-620-7474(代) FAX.045-620-7456

